

# アルミニウム製笠木

( **アルド**® K L E型)

## 施 工 要 領

この度は、ダイケン製品をご採用いただき、ありがとうございます。

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

### — 目 次 —

施工上の注意点	_____	1~3
割付け	_____	4~5
施工手順	_____	6~8

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。



重要

## ブラケット取付け注意点（施工前に必ずお読みください。）



警告

ナイロンプラグは、**有効長さ（40mm）**が躯体部分に確実に入るようにしてください。  
仕上げモルタルの強度では、プラグが抜ける場合があります、事故の原因になります。



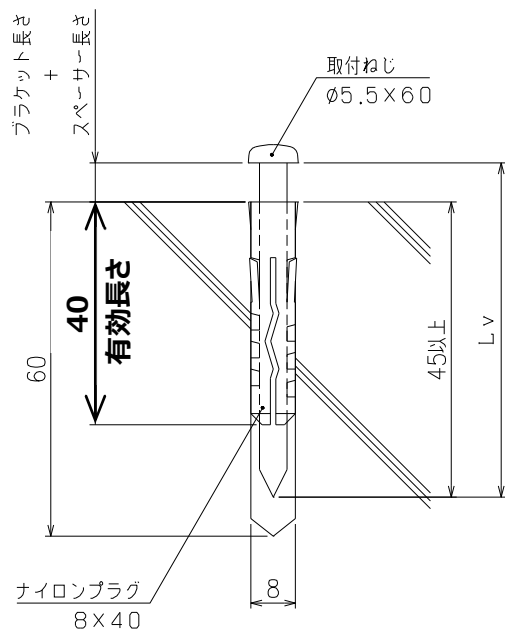
**インパクトドライバーでねじを締め込む際は、ナイロンプラグが浮き上がっていないか必ず確認してください。**



**スペーサーを使用する場合は、合計8mm以内で使用**してください。

**8mmを超えて使用すると、下の写真のように取付ねじがナイロンプラグを貫通しないため、  
ブラケットの十分な強度が発揮できず、事故の原因になります。**

スペーサー等で、8mmを超えたレベルを調節する際は、取付ねじが躯体部分に「**45mm以上**」入るように  
取付ねじの長さを設定してください。（下図参照）



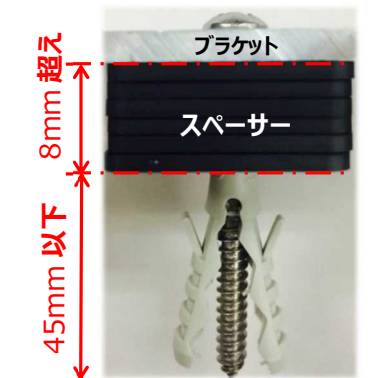
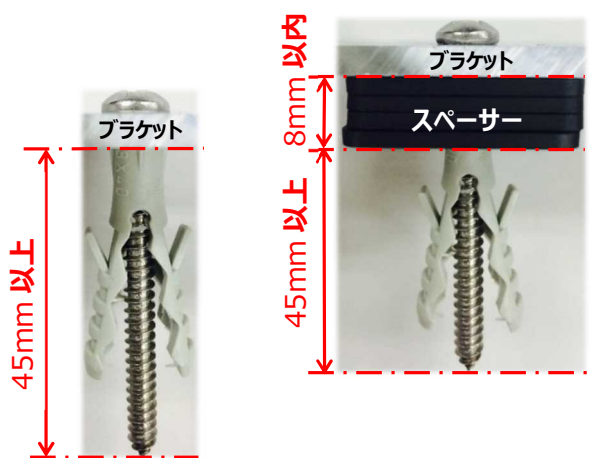
※ 取付ねじの長さ L v

≥ 45mm + ブラケット厚さ + スペーサー厚さ 以上

(例) ・ ブラケット厚さ7mm ・ スペーサー厚さ10mm

$L v \geq 45 + 7 + 10 \geq 62$

→ 65mmの長さのねじを使用



**警告** ブラケットの強度がでない為、  
ねじを長くすること。



ねじが貫通している。 → OK



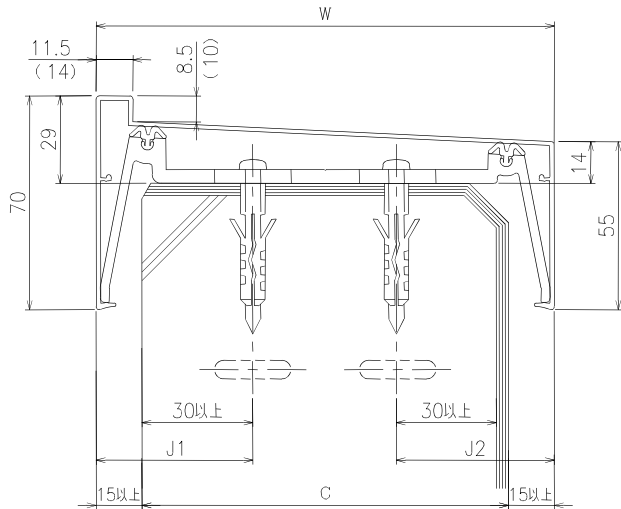
ねじが貫通していない。 → NG



重 要

## 取付ねじの躯体端部からの距離についての注意点

(単位: mm)



W幅 (笠木幅)	C寸法 (仕上最大幅)	ブラケット 厚さ	J1寸法	J2寸法
135	105	4.0	61	
150	120	4.5	61	
175	145	5.0	79	
200	170	5.5	88	84
225	195	5.5	78	84
250	220	6.0	84	
275	245	7.0	84	
300	270	7.0	85	
325	295	7.0	85	
350	320	7.0	81	
375	345	7.0	76	
400	370	7.0	84	
450	420	7.0	79	
500	470	7.0	71	

※図内の( )寸法は KLE375、400、450、500 の場合です。※ J 1 / J 2 寸法は、下記条件で設計しています。

※取付ねじは、躯体の端部から 30 mm 以上で施工してください。

- ・建物高さ：2.5 m
- ・設計風圧力：2.785 N/m<sup>2</sup>
- ・風速：3.8 m/s
- ・粗度区分：Ⅲ

※笠木幅が規格外寸法の場合は、適用外となりますので御注意ください。

### 警告

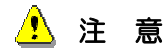
**J1・J2 寸法が上表の数値より大きくなる場合は、強度の検討が必要となります。**  
 ブラケット設置数を増やすなどの対策が必要となりますので、弊社までお問い合わせください。  
 (右上表「J1・J2 寸法」参照)

**!** 取付ねじは、数を減らしたり指定位置以外に取付けると事故の原因になります。

## ■ 笠木本体割付け

### 割付図がある場合

- ・ 笠木本体割付けは、割付図に従って振り分けてください。
- ・ 躯体の寸法が、割付図と多少異なることがありますので、半端寸法の切断は、実測によって確認の上で行ってください。



### 注意

人の手が触れる場所に施工する場合、笠木本体の切断面のカエリをヤスリなどで取り除いてください。  
切断面のカエリは、けがの原因になります。

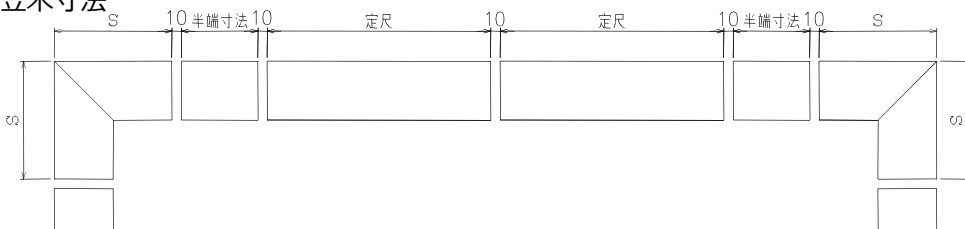
### 割付図がない場合

- ・ 笠木本体の割付けは、コーナー部等の役物から先に割付け、直線部については、パラペット全体の形状を勘案し、笠木本体の定尺を中心に割付けてください。
- ・ 笠木本体は、半端分を両端に均等に振り分ける方法、半端分を中央寄りに納める方法、半端分を片側に納める方法があります。

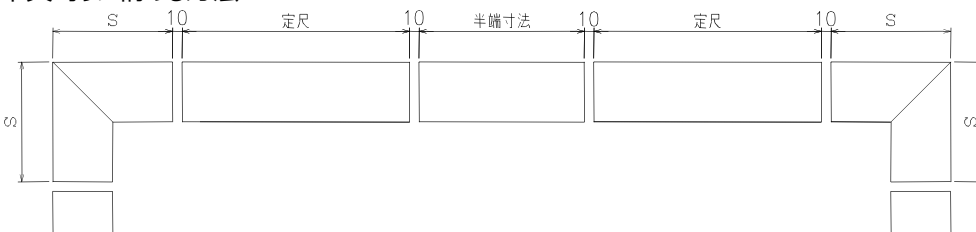
### 笠木割付

#### ■ 半端分を両端に均等に振り分ける方法

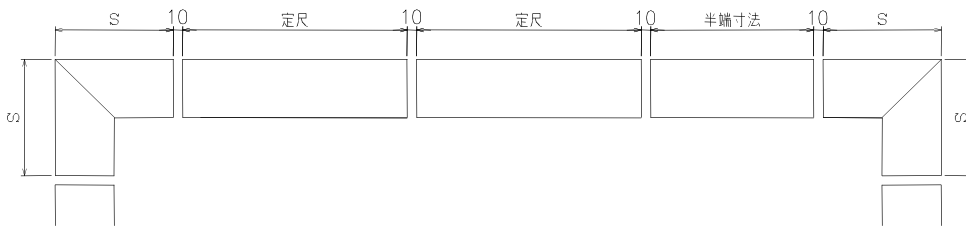
S = コーナー笠木寸法



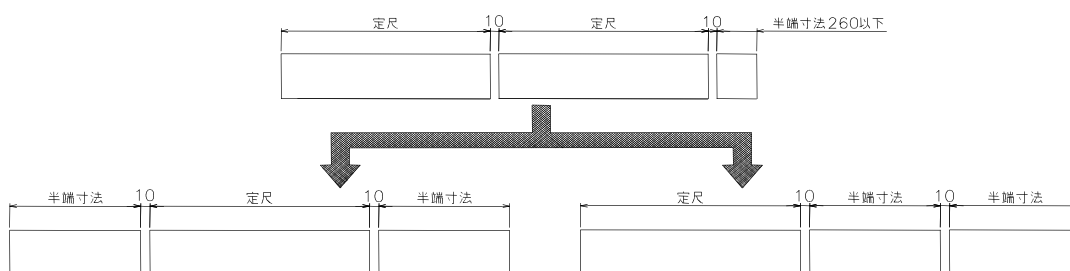
#### ■ 半端分を中央寄りに納める方法



#### ■ 半端分を片端に納める方法



※半端寸法が260mm以下になる場合は、半端寸法を2本に振り分けてください。



## ■ ブラケット、ジョイントの割付け

笠木本体の割付けを基準に、下図のブラケットピッチを標準として、必ず強度計算書で確認の上、ブラケットとジョイントの配置を決めてください。ブラケットは、笠木本体が通り良く、かつ笠木本体の水勾配が正しく保持されるように、あらかじめ調整して取付けてください。



**注意**

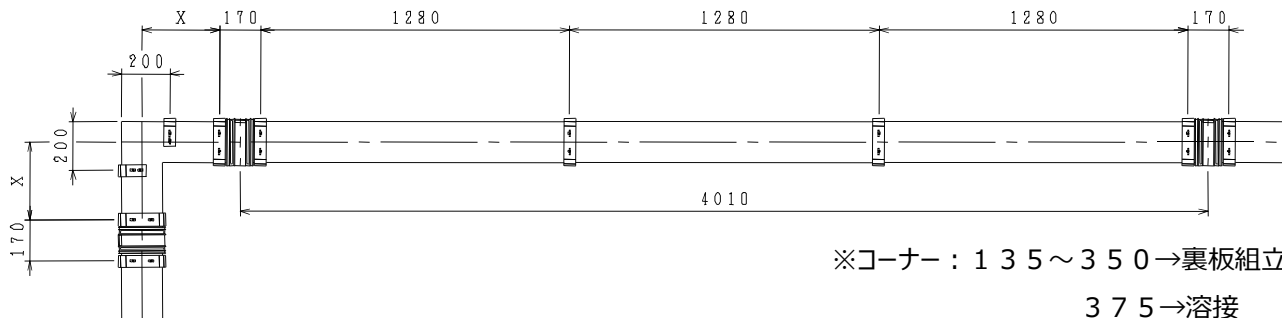
あと施工アンカーによるブラケット、ジョイントの取付けに際して、特に強い風圧の予想される箇所に使用する場合は、風荷重に対して十分な引抜き耐力を有するようアンカーの径、長さ、取付間隔を検討し施工に注意してください。



**警告**

ブラケットピッチは、強度計算書で算出したピッチを守ってください。ブラケットピッチを大きくしたり、ブラケットの個数が少ないと、笠木がはずれ、事故の原因になります。

■ KLE135～375型（定尺4m物）

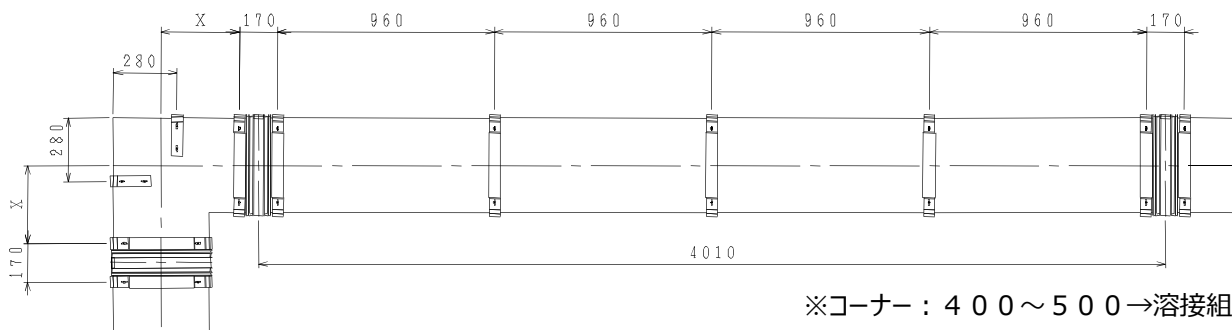


(mm)

笠木幅	135	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375
X寸法	352.5	345	332.5	320	307.5	295	282.5	270	357.5	345	332.5

■ KLE400～500型（定尺4m物）

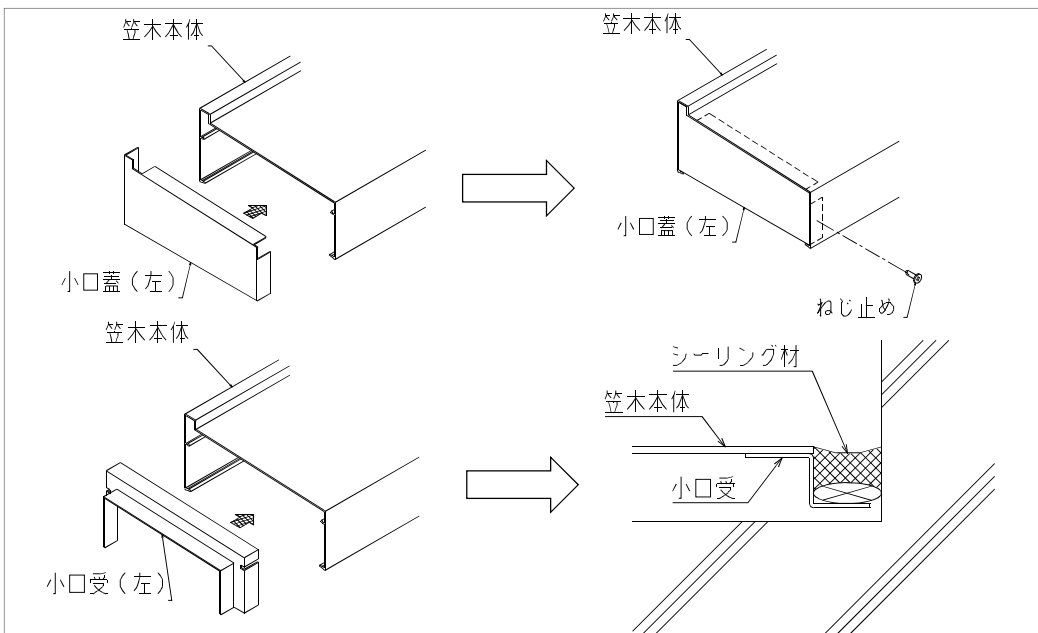
※コーナーは溶接組立になります。



(mm)

笠木幅	400	450	500
X寸法	420	395	370

## ■小口蓋、小口受取付要領



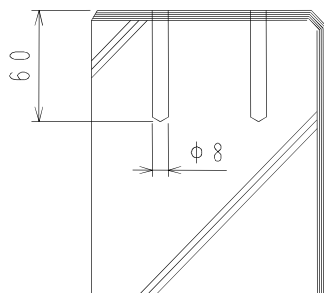
### ⚠ 注意

小口蓋は、落下しないようにドリルねじで、確実に取付けてください。  
落下すると事故の原因になります。

小口蓋および小口受は、金属ボンドで取付けてください。  
また、小口蓋は、飛散防止処置として、ドリルねじ止めを必ず行ってください。  
小口受使用部は、シーリング材で必ず処理してください。  
※金属ボンドは付属していません。

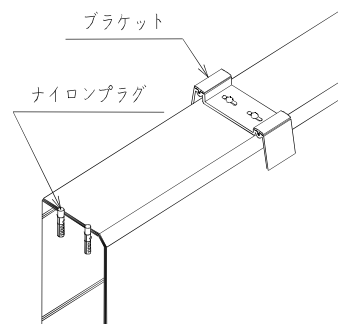
## ■施工手順 直線部

1



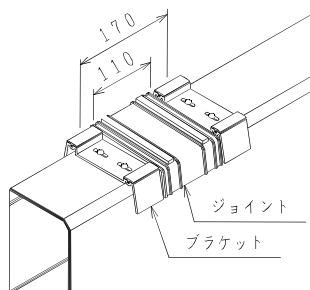
割付けに基づき、パラペット天端面に笠木本体のセンター墨を出した後、ブラケット位置を決め、躯体にプラグ穴をあけてください。（ドリル径 φ 8mm、深さ60mm）  
ブラケットの位置決めは、コーナー部等の役物より行い、ジョイント部は、ブラケットの芯と芯のピッチを170mmとしてください。

2



各プラグ穴にナイロンプラグを挿入した後、ブラケットのセンターマークを笠木センター墨に合わせて躯体にセットし、専用ねじで取付けてください。  
※取付面の凹凸は、ブラケット下にスペーサーをセットして調節してください。

3

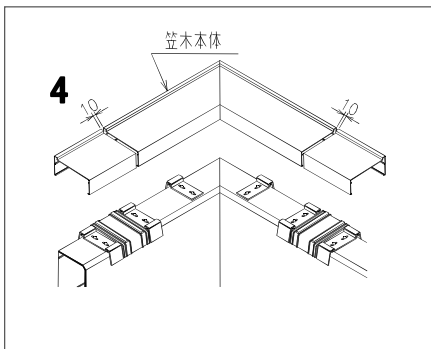


笠木本体のジョイント部にセットした、ブラケットとの間にジョイント（幅110mm）をセットしてください。

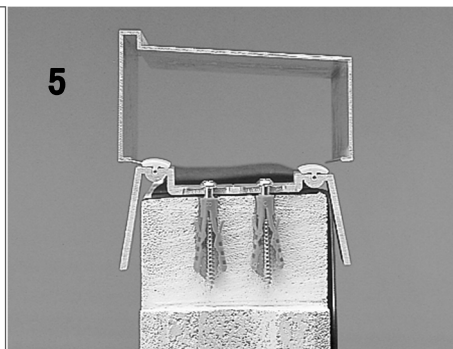
### ⊘ 警告

ブラケットは2箇所の固定穴をそれぞれ確実に固定してください。  
やむなく固定穴より内側に穴を設けて固定する場合は、ブラケット設置数を増やすか、ブラケットを補強するなど強度の検討が必要となりますので、ご注意ください。

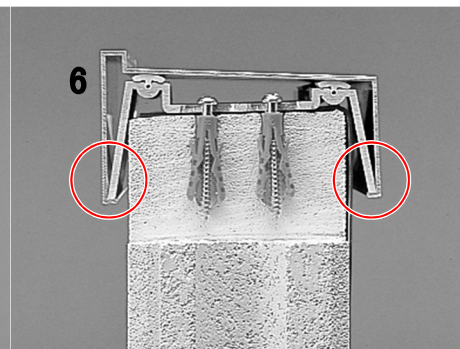
⚠ **1ヶ所だけの固定やブラケットの強度を損なう施工は、事故の原因になります。**



4  
 笠木本体の取付けは、必ずコーナー部等の役物から先に行ってください。  
 笠木と笠木のジョイント部は、本体間との隙間を10mmあけてください。

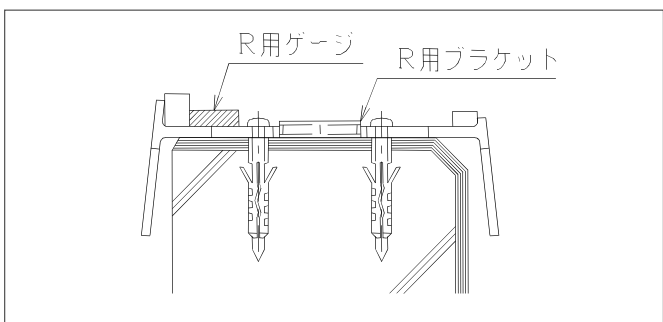


5  
 笠木本体は、真上からブラケットに押し込むように入れ、パチンと音がするまで押し込んでください。



6  
 パチンと音がすれば取付け完了です。この時必ず笠木本体の両側脚部が、**ブラケットおよびジョイントに確実に嵌合していることを確認してください。**

■ 施工手順 R部



R用ブラケットを直線部と同様に躯体にセットし専用ねじにて仮り止めした後、R用ゲージを上図のようにブラケットにセットしてブラケットの出入りを調整してから専用ねじを本締めしてください。

R用本体、R用ジョイント等は直線部の施工手順3～6を参照して取付けてください。

■ 施工手順 入隅コーナー部



コーナー裏板組立 (KLE350以下) の場合、内部側の角に触れると怪我をする恐れがあると判断される時に、付属品の「コーナーガード」(上写真参照)を取付けてください。